

萩の湯だより6月号

NO. 11

発行日 平成30年06月01日

作成者 長沼 雄三



住所 東京都台東区根岸2-13-13
JR 山手線鶯谷駅徒歩3分 JR 日暮里駅徒歩8分
電話 03-3872-7669
HP アドレス <http://haginoyu.jp/>
営業時間 朝湯 6:00~9:00 (最終受付 8:30)
11:00~深夜 1:00 (最終受付 0:30)

料金 大人460円 小学生180円 幼児80円
サウナ プラス120円 (土日祝170円)
朝湯サウナ無料
タオルセット 70円
リンスインシャンプー・ボディークリーム無料
定休日 第3火曜日 (祝日の場合翌日水曜)

共通入浴券について



平成31年6月30日まで有効の新しい共通入浴券は6月1日より販売いたします。10枚4300円。

高齢者入浴券

高齢者入浴券のハガキでのお申し込みは先月で終了いたしました。新規で加入するお客様は7月1日以降区役所2階高齢福祉課にて直接お申込み下さい。

1周年感謝祭

6月3日の日曜日は1周年感謝祭です。薬湯はローズマリーのハーブ湯、露天風呂はレモンガラスのハーブ湯となります。また1年間の感謝の気持ちを込めまして大抽選会も開催。ぜひご来店ください。

*オーナーのコラム

銭湯の料金はどのように決まるのでしょうか？あまり気にしたことがないかもしれませんが、全国の銭湯は物価統制令という戦後のインフレを抑えるために制定された法律により料金の上限額が決められています。東京都でもそれを毎年協議し価格を決定しています。どのような協議なのか一度実際の現場を覗いてみたかったので都庁へ行ってきました。予約をすれば傍聴は誰でも可能です。

数回あるうちの最終協議でしたのでそれまでの経緯が良く分かりませんが、今年も値段は変わらず460円でした。平成20年に450円でしたから税抜き価格で考えれば10年前よりも価格は安いのです。消費者団体の方や主婦連合の方など値上げに反対という意見が多かったですし、お客様も安いに越したことはないのでは現状では良い結果だったのではないのでしょうか？

しかしそれはあくまで現状です。浴場経営者側は将来を考えると苦しいです。東京都は今まで神奈川県よりも10円高く値段を設定するのが慣例でした↑

薬湯の予定

6月

1	金	ホットハーブ	16	土	実宝湯
2	土	よもぎ	17	日	ビール
3	日	ハーブの湯	18	月	ひのき
4	月	りんご	19	火	定休日
5	火	玉露カテキン	20	水	ラベンダーカミツレ
6	水	実宝湯	21	木	笹の葉
7	木	ひのき	22	金	生姜エキス
8	金	笹の葉	23	土	レモン
9	土	ラベンダーカミツレ	24	日	ホットハーブ
10	日	生姜エキス	25	月	よもぎ
11	月	レモン	26	火	りんご
12	火	ホットハーブ	27	水	笹の葉
13	水	よもぎ	28	木	玉露カテキン
14	木	りんご	29	金	実宝湯
15	金	玉露カテキン	30	土	ひのき

* 上記は実宝湯、ハーブ湯を除き全て入浴剤を使用します。

露天風呂 15日鳴子温泉湯の花

↓そのため消費税が8%になった平成26年、480円で想定していた経営者側はまさかの460円に落胆してモチベーションも下がりました。もしかしたらリノベーションして後継者に任せようと考えていた経営者も諦めたかもしれません。たった20円の違いでも1日100人来店する銭湯で62万円も年間収入が変化してしまうのです。正直、私も戸惑っています。5年前までは多店舗展開を含め、やる気に満ちていたのですが、今は現状を良くすることだけで精いっぱいです。スタッフの福利厚生向上も先送りです。周りの経営者にも相談を受けることがあり、以前は銭湯のリノベーションを強く勧めていましたが、今は銭湯と他の事業でどちらがメリットあるかよく考えた方が良くアドバイスすることの方が多いです。利用者のためと思われた価格の現状維持が、今後銭湯数の減少により逆に利用者の負担になる可能性もあります。届かなかったこの声が来年の協議会には届くよう願うばかりです。